

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[11]2,4,5-トリクロロフェノール	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 200mL] --> B[pH調整 塩酸又は水酸化ナトリウム水溶液 pH2] C[クリーンアップス spike 添加 2,4,5-トリクロロフェノール-13C6 50ng] --> B B --> D[固相抽出 Oasis HLB Plus 10mL/分] D --> E[洗浄 精製水 10mL] E --> F[乾燥 遠心分離 3,000rpm、10分間] F --> G[溶出 ジクロロメタン 5mL] G --> H[脱水 Sep-Pak Dry] H --> I[濃縮 窒素バーン 0.5mLまで] I --> J[誘導体化 N,O-ビス(トリメチルシリル) トリフルオロアミド 0.1mL 室温、60分] J --> K[定容 ジクロロメタン 1mL] L[シリジンス spike 添加 フェナントレン-d10 50ug] --> K K --> M[GC/MS-SIM-EI] </pre> <p>注) GC/MSへ注入する溶媒を、ジクロロメタンに換え、ヘキサンで実施された例があった。 「平成19年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [11] 7</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP6890 MS：HP5973 カラム HP-5MS 30m×0.25mm、0.25μm DB-5MS又はVF-5ms 25m×0.25mm、0.25μm</p>